

## 【H20 国Ⅱ 教養論文 講評】

本問は、「お金」について受験生自身がどのように捉えているのかということと、近年の金融教育に対する受験生の考えを要求している。

設問①では、「お金」について単に「良い」「悪い」というような二元論的な記述を展開するのではなく、解答例で提示したような「幸福」実現のための手段の一つとして考えるなど、自分なりの見方を提示することが必要であろう。

また、設問②については、現代社会における金融環境の変化に伴い、金融教育の必要性が高まっている現実を認識しつつ、設問①で論じた自己の「お金」に対する見方も踏まえて、金融教育について論じなければならない。

本問の出題意図を考えると、身近な事象や事物に対して、受験生が多面的な捉え方ができるかを試すとともに、それらを取り巻く社会の今後のあり方について、どのような問題意識を持っているかも判断しようとしていると思われる。